

2026 年 8 月 1 日 (土)
SUPER GT 第 4 戦 予選
富士スピードウェイ

予選結果

Q1 : 5 位
Q2 : 7 位

予選概要

- ・ Q1 は大草りきがアタックをして 5 番手で Q2 へ
- ・ Q2 ではイゴール・オオムラ・フラガが 7 番手

コメント

代表 : 中嶋 悟

「3 カ月ぶりの予選は 7 位でした。暑いなか、みんなで頑張った結果だと思います。明日はいいレースになるよう祈りながら、準備を進めます」

監督 : 伊沢 拓也

「約 3 か月ぶりの SUPER GT となりましたが、前戦終了後からたくさんのテストを重ね、良くなかった点をしっかり振り返った上で、クルマのセットアップやタイヤ選択を進めて今回のレースに臨みました。今日は、これまでと違うパターンで臨み、イゴール選手が Q2 を走ることを前提にフリープラクティスからスケジュールを組みました。その中で、イゴール選手は Q2 を担当する難しさをあらためて感じたのではないかと思います。Q1 を担当した大草選手は、とても良いアタックをしてくれました。一方でイゴ

ール選手は、周りの伸びしろと比べると、もう一步タイムを上げ切れなかった印象です。その部分については、タイヤの温め方などを含めて、僕たちがもう少しうまく導いてあげられていれば、さらに良いタイムを出せたと感じています。とはいえ、予選7番手という良い位置につけることができました。明日はポイント獲得にとどまらず、上位フィニッシュを目指してチーム一丸で戦いたいと思います」

大草 りき

「今回持ち込んだタイヤはこれまでとは違うタイプだったので、そのタイヤがどのように機能するかや、実際のコンディションとのマッチングについては、走り出すまでは分からないところがありました。フリープラクティスで走ってみたところ、ロングランペースについては意外と悪くない感触を得られました。一方でショートランには課題を感じたため、予選に向けては思い切ってセットアップを大きく変更して臨みました。結果的にそれが良い方向に働いてくれて、僕たちとしては持っている力を出し切れた予選になったと思います。プレリユード勢は全体的に調子が良く、その中では自分たちが最下位という結果になってしまい悔しい気持ちもありますが、自分たちのパフォーマンスが上がっていることは間違いありません。明日の決勝も、この良い流れをつなげて、しっかりとレースを進めていきたいと思います」

イゴール・オオムラ・フラガ

「アタック自体はそこまで悪くなかったと思うのですが、タイヤのピークを引き出すタイミングが少しずれてしまい、セクター3 が思ったより伸びなかったような印象です。セクター1 と 2 の手ごたえは結構あったので、そのあたりのバランスをきちんとするのは非常に難易度が高いと思いました。第2戦の富士大会では、予選だけ急にうまく行ったような感じだったのですが、今回はフリープラクティスからまずまずの手ごたえがある中でこの予選結果なので、明日の決勝もしっかり戦っていきたいです」

※明日の決勝レースは 13 時 30 分から 66 周回で行なわれます。